

## 平成28年度 交通安全講話

5月30日（月）7限に、外部講師を招いて交通安全講話を実施しました。

演題「事故例から学ぶ自転車事故による社会的責任」

講師：A I U損害保険（株）代理店 株式会社 岡崎事務所  
大木本 努 氏

近年、高校生が自転車事故の加害者となり、高額の賠償責任を負うという事故が起きています。

交通事故から身を守ることはもちろんですが、加害者とならないためにも交通ルールを遵守することが大切です。

絶対に事故を起こしてはならないと、交通安全に対する意識を向上させるために開催しました。



### 【講話を聞いた後の感想】

・事故を起こしたら「ごめんなさい」の一言で済まされず、場合によっては多額の請求をされてしまうこともあると知って、他人事ではないと思いました。後半にでてきた「ヒヤリハット」は私も時々やってしまうことがあるので、それが事故に繋がる芽だとわかって、危機感と注意力を身につけることができました。

（3年生徒）

・自分の甘い考えが大きな事故原因となり、家族に大きな迷惑がかかることが講話をうけて実感することができました。これからは自分からも声をかけたりして注意していきたいです。（3年生徒）

・事故を防止するために、できるだけ一時停止や信号などを意識する。自分にももちろん責任は出るけど、親にも迷惑をかけることになるということがよく分かりました。（3年生徒）

・ふつうに自転車を運転したのと、イヤホンをつけて運転しただけの違いだけでも、何万円もの差があることを知りました。私もイヤホンをつけて自転車にのることがありますが、その一瞬だけで自分の人生が崩れてしまうのなら、我慢しよ

うと思いました。(2年生徒)

・高校生になるともう大人扱いのように、賠償金があることに驚きました。5000万円の実態は初めて聞いて驚く反面、怖かったです。これから交通マナー違反は絶対にやらないと改めて思いました。(2年生徒)

・私は普段自転車で登下校をしているので、今日の講話はとても役に立ちました。DVDでの実際に危険な運転の例を見て自転車だけでなく、歩行者にも気を遣って運転したいです。各種資格の欠格の話では、私の今の夢も含まれていたのだからこれから気をつけたいです。(1年生徒)

・講話を聞いて、僕は「歩道で前方に歩行者がいた場合、降りて追い越す、もしくはスピードを落としましょう」と聞いたとき、僕はいつも警笛を鳴らしてから追い越してしまうので、次からは言われたことを実行しようと思いました。(1年生徒)

・自分が事故を起こしてしまった時は、親に迷惑になるし、また、数年後、自分の子どもが事故の加害者になってしまわないように、しっかりと交通マナーを守るようにしつけることが大切だと思いました。これから交通ルールを守っていきたいです。(1年生徒)

・資格がとれなくなるのは知らなかったの今回聞いてよかったです。もっとたくさん保護者が聞き、それを子どもたちにしっかりと言い聞かせていくべきだと思う。(保護者)

・いつまでも子どもだからと思わず責任を持って行動してほしい。イヤホン運転をしている子をよく見かけます。できるだけ声をかけていきたいです。(保護者)

・マナーを守ることは大前提の上、自転車の損害賠償保険などの保険に入らなければならないし、その必要性を生徒に教えていかなければならないと感じた。(教員)

・今回の講話で自転車を運転することに責任をもつ必要があるということを知って良かったと思う。これをきっかけにして、自分の交通マナーの善し悪しを見直してくれたらと思います。(教員)